



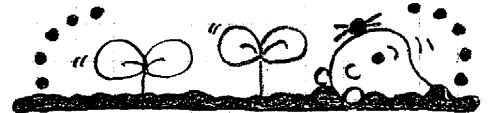
ちゅうりっぷ組だより

〈3月号〉

平成30年3月20日 ときわ保育園 担当: 野口



寒さも緩み、一段と春の気配が感じられるようになり、ほかに陽気に誘われて子ども達も活発に動き、元気いっぱいです。最近では、友達と一緒に遊ぶことを喜び、総合遊具の滑り台やテイクンベンチで行なうままごとも「おいち」と誇ったり、並んで座り、おしゃべりを楽しんでます。その姿は、ママもも祖さんのようで、日頃、一緒に遊ぶ中でいろいろなことを見たり、聞いていたりしていることに、感じると共に、微笑ましく、このような関わりを大切にしていきたいです。



ところで、先日、お絵描きをしました。お絵描きを始めた頃は、管、クレヨンに口を運ぼうとしたり、点々や線を描いても、力が弱かたのですが、力強い線や丸が描けるようになり、終わりにしようとしても、「もう一回」もっと描きたい」と訴え、「赤」「青」と言いながら、夢中になっています。そして、生活の中では、「自分でやりたい」という意欲が高まり、トイレに行くと、ズボンやオムツを自分で着脱しようとしていたり、排尿のタイミングも合うと、一日1〜2回ほど、成功する子もみられます。又、遊んだ後は、両手でたかさんの玩具を抱えて、片付けをしています。進級に向けて後押しがですが、「自分でやろう」とする気持ちを受け止め、元気に過ごせるよう配慮していきたいと思っています。

一年間、ご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。

